



第2期 沼津市子どもの貧困対策推進計画

すべての子どもが夢と希望をもって
健やかに成長するために

沼津市
令和6年3月

はじめに

本市は、令和5年に市制施行100周年を迎え、次の100年に向け、スタートを切りました。これからの100年を支えるのは、今の子どもたちとこれから生まれてくる子どもたちです。本市の未来をつくる希望であり、一番の宝である子どもたちが、この沼津で、愛され、安心して、心豊かに成長することは、市民すべての願いであり、その環境を整え守ることが私たち大人世代の責任であります。

厚生労働省の最新の「国民生活基礎調査」によりますと、我が国の子どもの貧困率は11.5%と、約8.7人に1人の子どもが、平均的な所得の半分以上の世帯で暮らす状況となっております。近年、子どもを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大や、不安定な世界情勢に伴う物価高騰などの社会不安や経済的影響により大きく変化しています。今後もそのような社会不安などが起こるたびに、子どもの貧困がより深刻化することが懸念されます。

本市では、そのように厳しい状況下にいる子どもたちをきめ細かく、かつ切れ目なく支え、将来にわたる貧困の連鎖を断ち切れるよう、「第2期沼津市子どもの貧困対策推進計画」を策定いたしました。

本計画の基本理念は、前計画を踏襲し、「すべての子どもが夢と希望をもって健康やかに成長するために」としております。

本市の未来を担うすべての子どもたちが、自由に様々な将来の展望を描き、その生まれ育った環境によって左右されることなく成長することができる社会の実現を目指しております。

本計画により、子どもの貧困対策を総合的に推進して参りますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりご協力をいただきました、沼津市子どもの貧困対策に関する計画策定委員会の皆様をはじめ、調査実施にご協力いただきました皆様や、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様に、心から感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

令和6年3月

沼津市長 頼重 秀一

目次

第1章 計画策定にあたって	1
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画の期間	2
第2章 沼津市の現状と課題	3
1. 統計資料から見られる現状	3
(1) 人口・子どもの数・ひとり親世帯の推移	3
(2) 高校進学率、大学進学率の推移	4
(3) 生活保護世帯の推移	4
2. 本市の状況（実態調査の主な結果等）	5
(1) 生活実態調査	5
(2) 資源量把握調査	31
3. 課題の整理	41
第3章 計画の基本方針	43
1. 沼津市における取組の理念と方針	43
(1) 基本理念	43
(2) 施策の方針	44
(3) S D G s（持続可能な開発目標）を踏まえた計画の推進	45
2. 計画の体系	46
3. 子どもの貧困対策に関する指標の管理と目指す方向	47
4. ライフステージから見た施策	48
第4章 施策の推進	49
1. 教育の支援	49
(1) 学校における総合的な子どもの貧困対策の展開	49
(2) 貧困による教育機会の減少を防ぐための乳幼児への支援	49
(3) 大学等進学に対する教育機会の提供	50
(4) 生活困窮世帯等への学習支援	50
2. 生活の支援	51
(1) 保護者の生活支援	51
(2) 子どもの生活支援	53
3. 保護者の就労支援	54
(1) 保護者の就労支援	54
(2) 保護者の就労機会の確保	55
4. 経済的支援	56
(1) 児童手当等	56
(2) 生活困窮世帯への支援	56
(3) 養育費の確保に関する支援	57

(4) 医療費の支援	57
5. 支援ネットワークの推進・活用	58
(1) 相談窓口	58
(2) 連携体制の推進と活用	60
第5章 計画の推進	61
1. 計画の推進体制と役割	61
(1) 行政の役割	61
(2) 市民・地域や関係団体の役割	62
2. 各種支援制度の周知	62
3. 計画の進捗管理と計画の見直し	62
資料編	63
1. 沼津市子どもの貧困対策に関する計画策定委員会設置要綱	63
2. 沼津市子どもの貧困対策に関する計画策定委員会委員名簿	64